



## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月9日

上場会社名 株式会社ティーガイア 上場取引所 東  
 コード番号 3738 URL http://www.t-gaia.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 年史  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営企画部長 (氏名) 俣野 通宏 TEL 03 - 6409 - 1010  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	406,035	△10.4	9,358	△4.6	9,383	△4.1	6,506	10.5
28年3月期第3四半期	453,284	△2.3	9,808	1.2	9,785	1.5	5,888	10.4

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 6,638百万円 (11.7%) 28年3月期第3四半期 5,941百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	115.57	—
28年3月期第3四半期	85.61	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	87,490	26,822	30.4
28年3月期	85,930	36,018	41.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 26,629百万円 28年3月期 35,817百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	20.50	—	22.50	43.00
29年3月期	—	26.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	616,000	△0.7	15,000	△4.3	14,950	△4.3	9,700	2.1	172.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有

新規 1社（社名） 、除外 1社（社名） 天閣雅（上海）商貿有限公司

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	79,074,000株	28年3月期	79,074,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	23,345,757株	28年3月期	10,300,357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	56,297,497株	28年3月期3Q	68,773,651株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は平成29年2月9日（木）に当社ウェブサイトに掲載予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(セグメント情報等) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成28年4~12月)におけるわが国経済は、政府の経済政策、日銀の金融緩和等の効果もあり、雇用・所得環境については緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、中国をはじめアジア新興国の経済成長の減速、英国の欧州連合(EU)からの離脱問題、加えて米国の大統領選挙後の政策動向に対する懸念などから、為替や株価は不安定な状態が続く等、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループ(当社および連結子会社)の主な事業分野である携帯電話等販売市場では、総務省による「スマートフォンの端末購入補助の適正化に関するガイドライン」の影響等により、過度な販売競争は沈静化し、販売台数は減少いたしました。

このような事業環境下、当社グループの携帯電話等販売台数は326万台と前年同期を下回る中、スマートフォンの販売比率は約8割になりました。

全社の当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、売上高4,060億35百万円(前年同期比10.4%減)、営業利益93億58百万円(同4.6%減)、経常利益93億83百万円(同4.1%減)、なお、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、法人税率の変更等により、65億6百万円(同10.5%増)となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (モバイル事業)

市場環境の変化を背景とする過度な販売競争の沈静化に伴い、販売台数は減少いたしました。

一方、来店されたお客様に快適に過ごしていただけるよう移転・大型化等の店舗拡充を実施し、販売スタッフの教育・研修を推進するなど、CS向上に取り組みました。また、アクセサリショップ、MVNO(仮想移動体通信事業者)ショップも新設いたしました。更に、アクセサリを含むスマートフォン関連商材、タブレットや光回線等、お客様のニーズやご利用状況に即した各種商品やサービスの販売において、引き続き付加価値提案力を高め、収益性向上を図り、営業利益の維持に努めました。

この結果、売上高は3,412億11百万円(前年同期比9.9%減)、営業利益は70億80百万円(同0.4%減)となりました。

## (ソリューション事業)

法人向けモバイルソリューションにおいては、端末の大口需要は前年同期に比べ少なく、販売台数は減少いたしました。また、企業へのスマートデバイス導入や活用支援に加え、ご利用時のサポートサービスの提案強化に努めた結果、収益は底堅く推移いたしました。また、業界対応型をはじめ、各種ソリューションサービスの拡充に引き続き取り組みました。

固定回線系商材においては、フレッツが卸売りモデルへ移行され、ビジネスモデルが転換期を迎えたことにより、前年同期比大幅減収となりました。また、独自ブランドの光アクセスサービス「TG光」の販売やパートナー企業への再卸販売強化により着実に販売網を拡大し、サービス内容やサポート体制の拡充等、将来的な投資も実施いたしました。

この結果、売上高は158億33百万円(前年同期比15.6%減)、営業利益は12億50百万円(同26.4%減)となりました。

## (決済サービス事業他)

国内決済サービス事業においては、券面額を売上高とする電子マネー系商材から、受取手数料のみを売上高として計上するギフトカードへと商品構成の変化が続いており、売上高は減少いたしました。また、ギフトカードの販売は好調に推移いたしました。

海外事業においては、平成28年12月に連結子会社である天閣雅(上海)商貿有限公司の全ての出資持分を譲渡いたしました。また、シンガポールでの決済サービス事業は堅調に推移しております。

この結果、売上高は489億90百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益は10億28百万円(同3.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ16億97百万円増加し、739億74百万円となりました。これは主に、商品が35億72百万円、未収入金が38億95百万円増加し、現金及び預金が20億91百万円、売掛金が30億28百万円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億36百万円減少し、135億16百万円となりました。これは主に投資有価証券が3億5百万円増加し、のれんが4億96百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べ15億60百万円増加し、874億90百万円となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ151億43百万円増加し、480億99百万円となりました。これは主に短期借入金が197億27百万円増加し、未払法人税等が30億82百万円減少したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ43億87百万円減少し、125億68百万円となりました。これは主に長期借入金が43億46百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ107億56百万円増加し、606億68百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ91億96百万円減少し、268億22百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益65億6百万円、配当による利益剰余金の減少29億96百万円、自己株式の取得127億71百万円による純資産の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

当第3四半期連結累計期間業績の、平成28年5月13日に公表いたしました通期業績予想に対する進捗率は、売上高65.9%、営業利益62.4%、経常利益62.8%、親会社株主に帰属する四半期純利益67.1%で推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間において、当社の特定子会社であった天閣雅(上海)商貿有限公司の全ての出資持分を譲渡したことにより、天閣雅(上海)商貿有限公司は当社の特定子会社に該当しないこととなり、当第3四半期連結会計期間末より、連結の範囲から除外しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,314	1,222
売掛金	19,012	15,984
商品	35,942	39,514
貯蔵品	65	72
未収入金	11,438	15,334
その他	2,507	1,845
貸倒引当金	△4	△0
流動資産合計	72,276	73,974
固定資産		
有形固定資産	3,212	3,058
無形固定資産		
のれん	2,510	2,013
その他	1,168	1,235
無形固定資産合計	3,678	3,249
投資その他の資産		
敷金	4,111	4,276
その他	2,655	2,936
貸倒引当金	△5	△4
投資その他の資産合計	6,762	7,208
固定資産合計	13,653	13,516
資産合計	85,930	87,490
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,803	7,918
短期借入金	1,002	20,729
1年内返済予定の長期借入金	8,128	6,378
未払金	10,523	10,976
未払法人税等	3,116	34
賞与引当金	1,696	1,006
短期解約損失引当金	179	142
その他	505	913
流動負債合計	32,955	48,099
固定負債		
長期借入金	14,747	10,401
退職給付に係る負債	384	376
資産除去債務	1,308	1,351
その他	515	440
固定負債合計	16,956	12,568
負債合計	49,911	60,668
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,154	3,154
資本剰余金	5,640	5,640
利益剰余金	35,534	39,044
自己株式	△8,755	△21,526
株主資本合計	35,573	26,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110	315
為替換算調整勘定	133	1
その他の包括利益累計額合計	243	317
非支配株主持分	201	192
純資産合計	36,018	26,822
負債純資産合計	85,930	87,490

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	453,284	406,035
売上原価	408,184	361,670
売上総利益	45,099	44,365
販売費及び一般管理費	35,291	35,006
営業利益	9,808	9,358
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	5
持分法による投資利益	—	23
受取保険料	28	18
損害賠償金収入	1	4
その他	49	35
営業外収益合計	83	89
営業外費用		
支払利息	97	48
その他	7	15
営業外費用合計	105	64
経常利益	9,785	9,383
特別利益		
固定資産売却益	4	2
投資有価証券売却益	—	118
子会社株式売却益	—	41
特別利益合計	4	162
特別損失		
固定資産除却損	25	28
固定資産売却損	—	0
投資有価証券評価損	184	—
ゴルフ会員権評価損	4	—
特別損失合計	214	28
税金等調整前四半期純利益	9,576	9,517
法人税、住民税及び事業税	3,273	2,454
法人税等調整額	362	498
法人税等合計	3,636	2,953
四半期純利益	5,939	6,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	51	58
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,888	6,506

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	5,939	6,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	205
為替換算調整勘定	△9	△131
その他の包括利益合計	1	73
四半期包括利益	5,941	6,638
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,889	6,580
非支配株主に係る四半期包括利益	51	58

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月22日開催の取締役会決議に基づく自己株式の公開買付けにより、平成28年4月13日付で自己株式13,045,400株を取得いたしました。この結果、第1四半期連結累計期間において自己株式が12,771百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が21,526百万円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	378,593	18,760	55,930	453,284
セグメント利益 (営業利益)	7,110	1,698	998	9,808

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	モバイル事業	ソリューション事業	決済サービス事業他	合計
売上高	341,211	15,833	48,990	406,035
セグメント利益 (営業利益)	7,080	1,250	1,028	9,358

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益は一致しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。